

投資信託入門

2. 投資信託の賢い買い方とは

「投資信託」を買おうと思われた方に立ちほだかるのは、商品の選び方、買い方でしょう。いつでも買える投資信託を追加型投資信託といいますが、四千超の商品があり、その商品の性格は様々です。自分に合った投資信託と出会いたいですね。5つの質問に答えてみるだけです。ひとつずつ、ご自分でチェックしてみましょう。

Q1 沢山の選択肢のなかから、自分に合った商品を選ぶ最初の一步はどう踏み出せばいいでしょうか？

投資信託を買う方法には、証券会社や銀行の窓口販売やインターネット販売、投資信託会社自身による直販などがあります。それぞれ扱っている商品は異なります。まず、新聞や雑誌、インターネット、金融機関のサイトなどで情報収集して、興味を持てる商品を探してみましょう。

売れ筋の投資信託が必ずしもあなたに合う投資信託とは限りません。販売会社を訪ねてみた場合は、受取った資料を持ち帰って、自宅で目を通す冷静さが賢い投資家への第一歩です。

Q2 どんな商品かを知る方法をご存知ですか？

投資信託には「交付目論見書」と呼ばれる、購入する前に目を通すべき説明書があります。まずこの書類を販売会社や投資信託会社から入手しましょう。商品の特色、仕組みや運営、支払うことになる様々な費用などに関する重要事項が簡潔に記載されています。読んでみてください。理解できますか。

また、商品が設定されてから1年以上経っていれば、「運用報告書」と呼ばれる、運用経過を説明する書類が作成されます。販売会社や投資信託会社のウェブサイトに掲載されていますから、目を通しましょう。多くの投資信託では、最近の運用状況をまとめた月報や販売用資料もウェブサイトに掲載されていますから、参考にすると良いでしょう。

Q3 良質な投資信託を見分けるポイントはどこにあるのでしょうか？

チェック・ポイントが幾つかあります。

- ① 設定されてから3年以上経過しているでしょうか。初心者は3年以上の運用実績がある投資信託から始めることをお奨めします。運用成績は過去のもので、将来の運用成果などを保証するものではありませんが、投資信託の運用の良し悪しを評価するには少なくとも3年の運用実績が必要、と多くの専門家が指摘しています。

- ② 純資産総額は30億円以上ありますか。残高が少ないと、投資信託会社の都合で運用が中止（繰上げ償還）されることがありますので、注意しましょう。
- ③ あなたが負担することになる総コストも確認しましょう。投資信託のコストには、買う時に販売会社に払う通常2～3%の「販売手数料」がありますが、それ以外に保有期間中、投資信託の運営のために働いてくれる投資信託会社や信託銀行、販売会社に対して、「信託報酬」という報酬を毎日支払うこととなります。「信託報酬」は通常、年率1.5%程度で、日々運用中の資産から差し引かれ、基準価額を下げる要因となります。総コストが高いと、手にする収益は少なくなることを理解しておきましょう。
- ④ 投資信託によっては、売却を受けない期間（クローズド期間）を設けているものがあります。また、売却時に「信託財産留保額」や「解約手数料」という追加費用を支払わなくてはならない商品もあります。買う前に確認しておきましょう。
- ⑤ (社)投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/link/>) から、その投資信託の運営を担当する投資信託会社について確認することをお奨めします。会社によって投資に対する考え方（投資哲学）や運用体制などが異なります。信頼できると思える会社の商品を選ぶようにしましょう。

Q4 どういう商品が自分に合った商品と考えればいいのでしょうか。

その商品がどんなときに値上がりをし、どんなときに値下がりしやすいか分かっていますか。仕組みが理解できて、自分の大切なお金を託すに値する商品だと思えますか。

買おうとしている商品について、分からないことがあれば、販売会社もしくは投資信託会社に尋ねましょう。「分からないことを恥ずかしくない、面倒がらない、納得するまで聞く」ことが、賢い投資家になるための第一歩です。

Q5 もし、その投資信託の基準価額が大幅に下落してしまった場合でも、生活は大丈夫ですか？

投資信託は、近い将来使うことが決まっているおカネの運用には向いていません。投資信託を初めて買う場合は、一時的に価値が大幅に下がっても支障のない金額から始めましょう。あなたが投資しようとしているその金額は大丈夫ですか？

【フォスター・フォーラム 良質な金融商品を育てる会】

フォスター・フォーラムは、自立した暮らしに欠かすことができない「良質な金融商品」を育てることを目的に、金融サービス提供者、行政、個人、消費者団体等に向けて、様々な提言や情報発信を行っています。

設立：2004年（平成16年）11月

主な活動：金融商品・サービス、金融に関わる制度・法律に関する調査・研究・出版・翻訳・教育、その他。

ホームページ：<http://fosterforum.jp>

当資料の正確性については万全を期しておりますが、当情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、フォスター・フォーラムは、これにかかわる一切の責任を負うものではありません。